

田中優子

● 着ぐるみ・縫いぐるみ（動物園）

着ぐるみという言葉はメディアによって作られた。それからまだ日が浅い。着るために作られた縫いぐるみを表現したもので、おそらくテレビや映画の怪獣に端を発した造語であろう。今日ではテーマパークやイベントなどで日常的に見ることができるし、言葉としても定着している。しかしそれ以前にも着ぐるみ自体は存在した。歌舞伎や狂言では動物や怪物に扮する役者が、その形に作られた衣装を着て舞台に登場した。この衣装を縫いぐるみと言った。舞台では役者の演技力と舞台装置が物を言う。更につくりものや音の演出で世界を表現し、決して本物の動物や樹木などを使うことはない。そこで、縫いぐるみを着て演技をするという発想が選択される。この演目は動物園での嘶だが、江戸時代の見せ物小屋などでも実際にあったのではないだろうか。

● 芝居を支える人々（四段目）

嘶の中で丁稚が「下っ端の役者の役」という場面があり、演者によっては「稲荷町の」という場合もある。浄瑠璃や歌舞伎は江戸時代に盛んになり、同時に劇場の構造や内部のしくみの整備も進んだ。とりわけ楽屋が複雑になった。当初は能舞台のように共同の楽屋だったが、次第に立役と女方に別々の個室が与えられ、座頭（ざがしら）や幹部役者の個室、作者部屋、その他の役者の大部屋など、しきたりや厳しい規律に従って細かく区分された。大部屋は一階にあり、芝居の守護神である稲荷大明神が祀られていたことから、大部屋を利用する新入りや端役等その他大勢の役者を「稲荷町」と呼んだ。役者以外に芝居を支える様々な裏方がいたので、部屋を確保するために、表向き二階建てだが「中二階」と称して三階も作り、三階以上の建築禁止令をしたたかにかいくぐっていた。

● 幫間が通用する条件（鰻の幫間）

幫間は、最も多い東京でも今は6人しかいないようだ。職業として定着したのは宝暦（一七五一～六三）の頃で『吉原細見』に男芸者の名で掲載されるようになる。後の本業となる客を喜ばせ宴席を盛り上げる仕事の前は、遊里に客を同伴する案内人であったようだ。音曲や踊りなどの芸の他に、客を大尽と称して持ち上げる話術と気遣いを兼ね備えていた。歴史を遡ってみると、幫間の前身は御伽衆だと考えられている。戦国武将の側近で、雑談の相手をして武将の気を紛らわす癒し的存在だった。なるほど話術と気遣いはうなずける。現代に目を向けると、大尽の存在しない時代である。大尽と思しき財力を持った人物は皆、生きていうちに使いきれぬはずのない更なるお金を求めて躍起になっている。そういう時代に芸や気遣いや、深い遊びの文化が生まれて躍動するわけがない。

● 竹の性質（竹の水仙）

日本人が竹製の道具を使い始めたのは、縄文遺跡からザルや籠が出土していることから、縄文時代晩期と言われている。身近に竹が豊富にあり、加工しやすく丈夫で長持ちである性質を既に縄文人は掌握していたと推測できる。竹を割ったような性格という形容詞があるが、これは竹が縦の刺激に非常に弱い性質を物語っている。その逆で名刀の試し切りにも竹が使われる場合が多いが、横の刺激に強い竹を切る（実際は斜めに切る）ことで切れ味を実証する。このことを実証するのが、竹細工に欠かせない竹を割くという行為だ。ザルや籠も割いた竹を編む。横の刺激に強いので弾力がある。弾力はイコール長持ちという訳だ。江戸時代の家事の道具は、もっぱら竹製だった。竹製品の特筆すべきことは、プラスチックと違い最期は朽ちて自然に帰ることだ。環境問題解決の要である。

● 絵草紙屋（幾代餅）

絵草紙屋はつまり本屋なのだが、学問書、教養書、宗教書などの専門書を商っていた「物の本屋」というものもあった。絵草紙屋は浮世絵（錦絵）や黄表紙や浄瑠璃本など娯楽の本を商っていたのである。企画・印刷・出版・販売をおこなう本屋は、江戸時代の初期に京都で始まった。当初は活字印刷が行われたが、木版印刷に切り替わり、これが絵入りの本を売る絵草紙屋の出現に繋がった。元禄（一六八八～一七〇四）前後には読書人口が一気に拡大する。絵草紙屋は江戸時代の後半、江戸でさらに発展し、搦き米屋奉公人の清蔵が絵草紙屋で幾代太夫の錦絵を見ることになるのだ。絵草紙屋業界は急成長して、武士の作家たちを巻き込み、常に新しい出版物の開発をおこなっていた。幕府はこれに警戒を強め、享保・寛政・天保と各改革で出版統制をした。それほど影響力があったのだ。

田中優子（法政大学名誉教授、江戸東京研究センター特任教授）

法政大学社会学部教授、学部長、法政大学総長を経て現職。

専門は江戸時代の文学、美術、生活文化、アジア比較文化。

現代社会についての連載エッセイなどもある。

『江戸の想像力』で芸術選奨文部大臣新人賞

『江戸百夢』で芸術選奨文部科学大臣賞、サントリー学芸賞

その他著書多数。2005年紫綬褒章。